

ワイヤレス キーボード TK-FDM057T シリーズ ユーザズマニュアル

このたびは、エレコム ワイヤレス キーボード "TK-FDM057T" シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは "TK-FDM057T" シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※ このマニュアルでは一部の表記を除いて "TK-FDM057T" シリーズを「本製品」と表記しています。

安全にお使いいただくために

■ 絵表示の意味

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
		「してはいけない」ことを示します。
		「しなければならないこと」を示します。
		「注意していただきたいこと」を記載しています。「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバーユニットをパソコンから取り外して、キーボードから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後で、レシーバーユニットをパソコンから取り外し、キーボードから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

	警告	- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。 - 万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レシーバーユニットをパソコンから取り外して、キーボードから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品の分解や改造、修理などをしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
		本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
		レシーバーユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
		レシーバーユニットは、お子様が誤って飲み込んでしまう危険がありますので、絶対にお子様の手の届かないところに保管してください。
	注意	- 本製品を次のようなところには置かないでください。 ● 日のあたる自動車内、直射日光のあたる場所 ● 暖房器具の周辺など高温になる場所 ● 多湿な場所、結露をおこす場所 ● 平坦でない場所、振動が発生する場所 ● マグネットの近くなどの磁場が発生する場所 ● ほこりの多い場所
		本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- 1 ヶ月以上使用しない場合は、レシーバーユニットをパソコンから取り外してください。
- 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■ 電池について

	注意
	本製品には単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形マンガン乾電池、または単 4 形ニッケル水素 2 次電池を使用してください。
	電池は新しいものと古いものを混ぜて使用したり、分解したりしないでください。
	本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■ お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には GFSK 方式を採用し、与干渉距離は 10m です。
2.4GHz 帯は、医療機器や Bluetooth®、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
● 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないか確認してください。
● 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
※ 「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

	警告
	● 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。 ● 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。 ● 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にキーボード本体の電池を取り出し、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします
	※ 本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負い兼ねますので、ご了承ください。

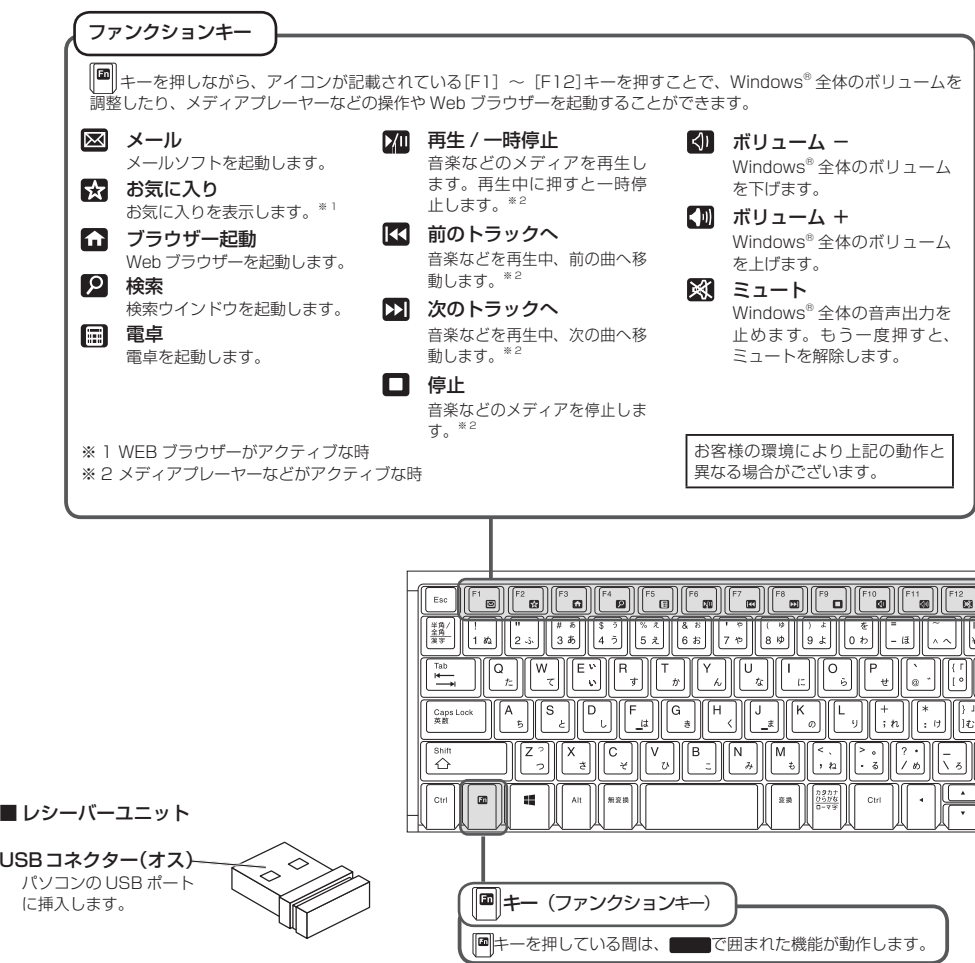
パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- キーボード本体 1 個
- レシーバーユニット 1 個
- 動作確認用単 4 形アルカリ乾電池 2 本
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1 部

各部の名称とはたらき

■ キーボード表面



■ レシーバーユニット

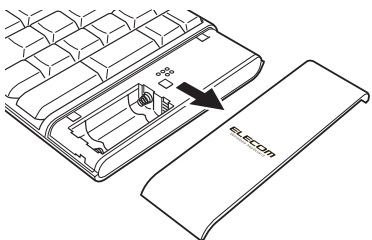
USB コネクター(オス)
パソコンの USB ポートに挿入します。

使用時の準備

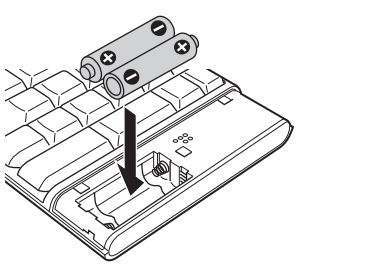
電池を入れる / 交換する

キーボードを使用するときは、単 4 形電池 2 本をキーボードに入れます。

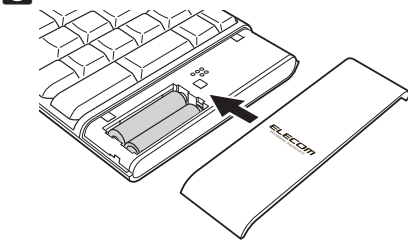
1 電池カバーを取り外します。



2 電池を入れます。



3 電池カバーを元通りに取り付けます。

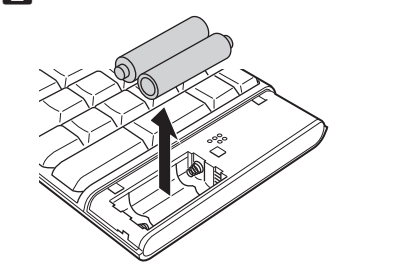


本製品に電源スイッチはありません。通常はスタンバイモードで待機し、キーの入力があったときに自動的に復帰します。一定時間入力が無ければスタンバイモードに戻ります。

■ 電池を交換するときは

1 電池カバーを取り外します。

2 電池を取り出します。



3 電池を入れます。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。

4 電池カバーを元通りに取り付けます。

レシーバーユニットを取り付ける

Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。



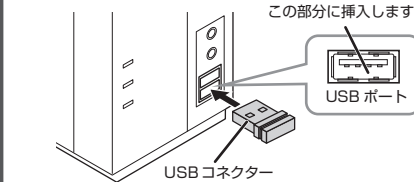
- USB ポートはどのポートでも使用できます。
- USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバーユニットを取り付ける

1 パソコンを起動します。

- Windows® の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピューターの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
- Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

2 レシーバーユニットをパソコンの USB ポートに挿入します。



- コネクターの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクターの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクターが破損したり、けがをする恐れがあります。

3 Windows® 標準ドライバーが自動的にインストールされます。

■ レシーバーユニットを取り外す場合

本製品はホットプラグに対応しています。Windows® が起動した状態でもレシーバーユニットを取り外すことができます。

- Windows® の起動中に何度も抜き差しをくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、Windows® を再起動してください。

■ スタンバイモードについて

本製品は電池の消耗を抑えるため、一定時間操作がないとスタンバイ(省電力)モードへ移行します。スタンバイモードのときに、キー入を行うと自動的に復帰します。

